

赤ずきんちゃんにご用心

(低学年用)

原作・絵・・・みやざき なつこ

編集・・・神奈川県警察

演出ノート

・ナレーションはゆっくり

【表紙】

それでは、紙芝居

「あかずきんちゃんにご用心」の始まり 始まり。

ゆみちゃんがお部屋で本を読んでいると

お母さん

「ゆみちゃん、おばあちゃんの家にご届け物をしてちょうだい。」

と、お母さんの声。

おばあちゃんの家へは

歩いて一〇分くらいです。

ゆみちゃん

「はい。」

と、返事をすると

ゆみちゃんは、出かけるしたく

をはじめました。



ぬく

・元気に明るく

【場面】

演出ノート

その頃、おばあちゃんの家では……

オオカミ

「えへへ……」

たしか、この家には、年寄りがひとりだけ住んでいるらしい。

最近の年寄りは、お金をいっぱい

もっているから、振り込め詐欺とかに引っかかるんだよな。

さて、今日は、荷物を届ける振りをして、

出てきたところをおそって、お金をカッポリとって

やるとするか……。

——と、こわい、宅配便屋さんが来ていました。——

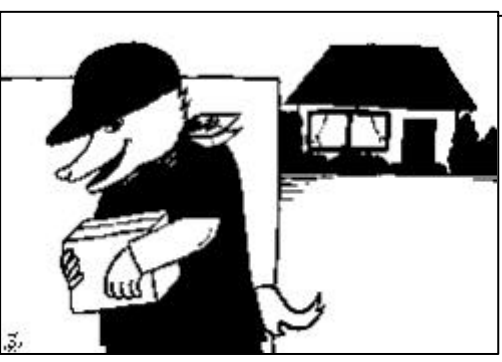
実は、この宅配便屋さんオオカミなんです。

・少し、大きさに

ぬく

保護者のみなさんへ

「ここでは、子どもに不審者等に対する固定観念をなくすためにあえて、あかずきんちゃん物語を通じて、オオカミを擬人化して悪い人としてお話を進めていきます。」



【 場 面 】

演出ノート

オオカミが、おばあさんの家の中をのぞいて
みると……。

あれれ……ってき元気！

オオカミ
「エー、おばあさんと言いつから、おばあさん
のかと思ったのに、ダンスなんか踊ってやがる……」

・あきれた感じで

おばあさん

「んが」

おばあさんの家に、誰かがやってきました。

ぬ く



1)

【 場 面 】

演出ノート

ゆみちゃんの

「あら、あら、ウメさん

おばあさん

いらっしやい。」

・ 元気良く

おばあさん

「こんにちは、タケさん。

ゆみちゃんの
おばあち

(ウメ)

相変わらず、元気そうだねえ」

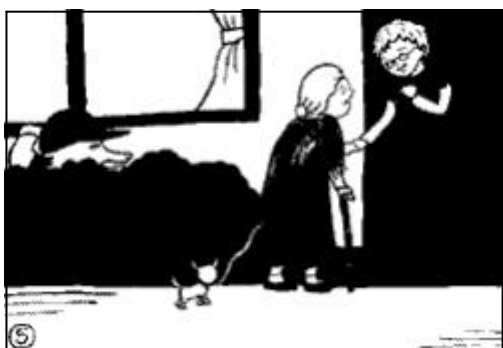
やんの
名前は
タケさん

ゆみちゃんの

「まあね。毎日、ダンスして...

おばあさん

心も体も、ハッスル、ハッスルよ。



アッハハハハ.....」

おじいさん

「タケさん、こんにちは。」

ゆみちゃんの

「おや、まあ、タロウさん」

おばあさん

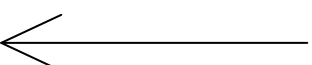
まだ覚えて

ゆみちゃんの

「あら、あら、みんなおそろいだよ。」

おばあさん

・ 少しずつ
ゆみながら



まだ覚えて

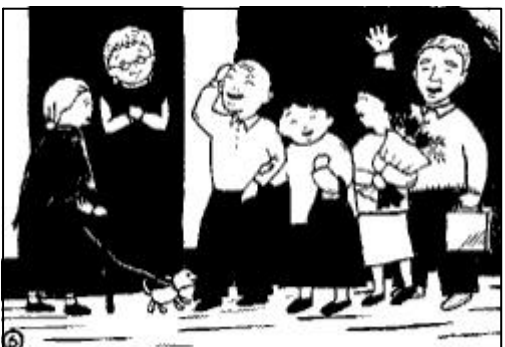
ゆみさん

【場面】

ゆみちゃんの
おばあさん

「まあ、まあ、みんなきてくれて……
うれしいねえ。
さあ、さあ、上がってお茶でも飲んでいって
くださいな。」

ぬく



【場面】

演出ノート

それを 見ていたオオカミは、

・ あきれた様子で

オオカミ

「何だ、何だ、この家は……」

次から次へと、じいさんやばあさんが

やってきて、どっなくなってんだ。

こんな家をねらうのは、

やめた。」

とあきらめました。

ぬく



【場面】

オオカミ

「つまらないなあ
悪いことしたいなあ
誰か来ないかなあ……」

ナレーション

本当に、困ったオオカミですね。

そこに、ゆみちゃんが

通りかかりました。

オオカミ

「ワオ、おじょうちゃん、

おじょうちゃんってばあ……」

オオカミの目がキラリ と光りました。

ぬく



演出ノート

りく
くく
・イラストした
様子で

ゆつめを
前頁

・挑発するよつな口調で

【場面】

演出ノート

オオカミ

・ちょっと、優しくそうに

「かわいい、かわいい、あかずきんちゃん。

お兄さんと いっしょに

お菓子を食べないかい。」

あかずきんちゃん

と呼ばれて、ゆみちゃんは、

シロリとオオカミをにらみました。

ぬく



【場面】

ゆみちゃん

「フン……」

ゆみちゃんは、何も言わずに
行ってしまいました。

ぬ
く



【場面】

演出ノート

ゆみちゃん

「ウォッ！あかずきんちゃんって
呼ぶなあ……………」

・大きな声で

おなかのそこから

手をぐるぐる回しておりました。

ぬく



【場面】

すると、ゆみちゃんの声聞いて

近所の人たちが、みんな顔を出したのです。

たくさんの方が、オオカミを見えています。

オオカミ

「これは、かなわない。」

オオカミは、怖くなりました

オオカミ

「そつえば、あかすきんちゃんには気をつけるって
死んだ父ちゃんが言ってたっけ……。」

とオオカミは、すたこら逃げていきました。

ぬく



保護者の皆さんへ

人目の多くあるところを犯罪者は嫌います。

そして、大きな声を出す、防犯ブザーを鳴らす、更には笛を吹くなど音の出るものは、身を守るためには、とても有効です。

【場面】

ゆみちゃん

「おばあちゃん

お誕生日おめでとう。」

今日は、おばあちゃんのと100回目の
お誕生日でした。

おばあちゃん

「おやおや、ゆみちゃんの

バスケットの中は、お誕生日の

ケーキだったのね……ありがとうね。」

ナレーション

ケーキはグチャグチャに
なってしまったけれど

元気なゆみちゃんやお友だちに

お祝いしてもらえて

おばあちゃんもうれしそうです。

みんなも、お話の中に出できた

オオカミみたいな、甘い言葉をかける

不審な人には、気をつけましようね。



おしまい

保護者みなさんへ

紙芝居の中のゆみちゃんはとても勇気がありましたね。

いわゆる防犯対策には、まず、犯罪を発生させない環境づくり

(例えば、街をきれいにしたり、地域の見守る人の目を増やすこと)

もう一つは、ゆみちゃんのように、自分で犯罪から身を守る方法を

身につけることです。こうして危険予測・危険回避能力を身につけ

ることの重要性をもう一度、お子さんと話し合ってみましよう。